

関東甲信越支部長活動報告

2010年9月



支部長 上浪 寛

支部執行部からのメッセージ

10月は上旬にJIA九州大会、下旬にアーキテツ・ガーデンが開催されます。両イベント共、関係する会員諸氏は来年のUIA東京大会の1年前イベントとして盛り上げようと汗を流して頑張っております。多くの会員の皆さまの参加をお待ちしております。ところで、UIA東京大会の論文と建築デザインの公募が始まっています。意欲のある方、興味のある方はUIA東京大会のHPで詳細をご覧ください。9月から開かれた支部組織再編会議では委員会横断で意見を出し合い、多くの人とミッションを共有できればと思っています。来年度の活動方針、予算策定に合わせて方向性を見極めていきたいと考えています。本部では来年5月総会で定款改定(案)を決議する予定です。地域会の位置付け、会員種別など、早急に議論を深める課題があります。また、これらの課題の解決と同時に、財政再建の検証と具体的な方策は待ったなしです。

支部長活動報告

- 6日 国際委員会が開かれる。来月のJIA九州大会で予定されているアメリカ、韓国、タイ国建築家協会との国際会議について確認等を行う。JOB広報部会が開かれる。国内、国外で秋にかけて各団体にイベントがあり、20ヶ所以上でのUIA東京大会展示が予定されている。マンパワーが不足しているので効率の良い手配が必要だ。
- 9日 本部では組織再編、財政再建、法・資格制度の3諮問会議を中心に組織再編が検討されている。支部においても支部執行体制の検証と課題の抽出、効率的組織運営の改善を目的として第1回支部組織再編会議が開かれる。新法人制度への移行に伴いどちらの法人形態と取るにせよガバナンスの徹底が余儀なくされている。委員会規定の確認、委員任期の確認、活動状況の確認を行った。委員長が集まり、自分たちのミッションを確認しながら他の委員会事業を含めた支部運営に対する意見を出し合うことができた。月に1回ペースで会議を開き、来年度活動・予算編成までに方針を決めたいと思う。第3回支部常任幹事会が開かれ、翌週の支部役員会議題についての協議・確認を行った。

- 10日 本部組織再編諮問会議＋定款改定WGが開かれる。総会第1議案の文案について議論する。8月の全国支部会員集会(近畿を除く)で行われたアンケート結果では、公益社団法人を目指すべきが65%で、一般社団法人を目指すべきとした14%を大きく上回っている。(その他、一般から公益が9%、解らないが12%)また、10月の臨時総会で決議すべきが59%で、先延ばしして議論すべきが40%となった。諮問会議の議案は「本会は新法の定めにより公益社団法人への移行認定申請を行うこととする」とした。今後は「地域会の位置付け」、「会員種別」の議論を深めて定款案を早急に作成することを確認する。
- 13日 アーキテクト・ガーデン拡大実行委員会が開かれ、各プログラムの最終調整が行われた。今年は10月27日～30日を建築家会館で、11月1日～5日をINAX銀座館に展示を移し、11月2日には藤森照信氏によるセミナーとレセプションパーティーが建築家会館で開催される。祭日の11月3日には、建築家プレミアムオークションを東京デザイナーズウィーク(TDW)の参加者にも呼び掛けて盛り上げる予定だ。
- 14日 本部資格制度委員会が開かれた。河野委員長より8/25に建築士会連合会との間で2002年合意に立ち返り協議を再開したことが報告された。2011年UIA東京大会までに合意を目指す。登録建築家審査基準における「芸術性」「独立性」について議論された。日本建設業団体連合会、日本土木工業協会、建築業協会が「日本建設業連合会」という名称で合併することが発表された。
- 15日 UIA大会支部推進委員会が開かれる。「一万人の世界建築家展」の概要が説明される。今年10月より2011年9月のUIA東京大会までの期間、一万人の参加者を目指す世界中の建築家によるWebsite上の建築作品展覧会。展覧会への参加は自身のクレジットを出せる作品の建築家であれば可能で、出展は無料。24時間世界中どこからでも鑑賞できる展覧会となる。
- 16日 アーキテクト・ガーデン期間中の11月3日に開催予定の建築家プレミアムオークションWGが開かれ具体的な方針を決める。
- 17日 支部役員会が開かれる。本部機関紙が休刊に追い込まれるのは由々しきことであり、全国支部予算を削減してでも出すべきという強い要望が出された。10月中旬発行の11月号は休刊となるが、その後は隔月発行の予定だ。定款改定について、地域会の位置付け、地域会の活性化を促す要望が多く出された。5月25日に行われた交流大会での懇談会に引き続き、支部役員と交流賛助会員の懇談会が開かれた。UIA東京大会、JIAが選択する法人形態の説明の後、活発な議論が交わされた。課題、宿題を頂戴し、最後には拍手をもって終わり、和やかな懇親会へ流れた。

- 21日 17日に前原誠司氏を引き継ぎ馬淵澄夫氏が国土交通大臣として就任した。政治主導による国土交通行政の執行を期待したい。九州大会で10/9に開催予定の関東甲信越支部主催職能シンポジウムへの馬淵大臣出席について、17日より再度確認する。本日朝一番に、大臣は出席の意向で、事前に芦原会長とシンポジウムについての打ち合わせを期待されている、という返事をもらい一安心した。事故の無いように警備の下打ち合わせ等を急ぎたい、と伝える。会員種別WGが開かれる。芦原会長が中長期ビジョンを示された。会員種別は会費と深く関係するが、今後の組織のビジョンを表す大切な課題であり、組織再編、財政再建の両面から総合的に議論すべき問題であることを確認した。また準会員制度を設ける場合はローカル性を出すべきとされた。来年5月の定款改定に間に合うよう、具体的な叩き台を作りながら議論を詰めていく。
- 22日 臨時理事会が開かれる。臨時総会議案を審議する理事会である。第1号議案、法人形態選択は「公益法人への移行申請」を賛成18、第2号議案、会費改定については「9,000円の値上げ」を賛成16の多数で、それぞれ承認された。
- 30日 29日朝、馬淵大臣の九州大会シンポジウム参加がキャンセルになった。Apec インフラ担当大臣会議の主催者として、丁度シンポジウムと同じ時間に公務が入ったための欠席だ。ご本人からの希望もありビデオメッセージを撮らせていただくことになった。二日間に渡り調整に手間取ったが、結果的に8日の式典で大臣のメッセージを国交省が代読し、9日シンポジウムでビデオによるメッセージを述べていただくことになった。大臣室でのビデオ撮影並びに大臣との談話は、国交省立会の無いJIAメンバー4名(伊平前支部長、筒井専務、上浪、JIA事務局員)と大臣のみで行われた。

支部長活動報告 2010年9月

2010年9月30日作成 上浪 寛



JIA九州大会は下をクリック

<http://www.jia2010.org/index.html>

UIA
2011
TOKYO DESIGN
2050

September 25 - October 1, 2011